

令和5年度 事業計画書

基本方針

栽培漁業による水産振興を図るため、「つくり育てる漁業」を推進する魚類・甲殻類・貝類の各種苗を生産し、必需者に供給するとともに、放流を行います。

また、令和元年度から取り組んでいた（一社）日本釣用品工業会のLOVE BLUE事業の専門機関と連携した放流事業について、令和4年度から3年間事業実施が採択され、2年目の事業として引き続き取り組みます。

各事業の実施計画

1 栽培漁業啓発普及事業

放流式の開催

例年9月第2火曜日に開催している当協会主催の放流式は、第31回放流式として、金浦漁港での開催を予定します。

協会の事業内容を広く周知し、理解を得るためホームページで情報発信します。

URL <http://akita-saibai.com/>

2 受託事業

秋田県水産振興センターが飼育する水産動物の飼育管理業務を受託します。

対象：マダイ・ヒラメ親魚、アユ・トラフグ種苗生産等

3 補助事業

広域種資源造成型栽培漁業推進事業

ヒラメ

(公社)全国豊かな海づくり推進協会補助事業

4の に再掲

(日本海北部海域栽培漁業推進協議会)

4 種苗生産・供給事業

クルマエビ(県水産振興センター栽培漁業施設を使用)

放流用	県内	25mm	2,314千尾
	県外(新潟)	25mm	200千尾
	計	25mm	2,514千尾

エゾアワビ(当協会アワビ種苗生産施設(にかほ市象潟町))

放流用	秋田県内各漁協配布	20mm	319千個
放流用	秋田県内各漁協配布	30mm	40千個
放流用	秋田県内各漁協配布	50mm	18千個
養殖試験用		30mm	2千個
	計		378千個

ヒラメ(県水産振興センター栽培漁業施設を使用)

放流用	秋田県内漁協	50~80mm	30千尾
放流用	広域種資源造成型栽培漁業推進事業	80~120mm	40千尾
放流用	水産多面的機能発揮対策(放流)事業	80mm	40千尾

放流用	一般社団法人日本釣用品工業会放流事業	80 mm	20千尾
	計		130千尾

クロソイ（県水産振興センター栽培漁業施設を使用）

放流用	一般社団法人日本釣用品工業会放流事業	80 mm	17千尾
	計		17千尾

マダイ（県水産振興センター栽培漁業施設を使用）

放流用	秋田県つり連合会マダイ稚魚放流事業	85 mm	4千尾
放流用	一般社団法人日本釣用品工業会放流事業	85 mm	20千尾
	計		24千尾

5 栽培漁業総合推進対策事業

マダイ、ヒラメの種苗生産、中間育成、放流及び市場調査を行います。

種苗生産（県水産振興センター栽培漁業施設を使用）

マダイ	30 mm	550千尾
		（4の分を含む）
ヒラメ	25 mm	400千尾
		（4の分を含む）

中間育成及び放流数

マダイ	85 mm	350千尾
場所：県内2箇所の漁港・港湾、県水産振興センター栽培漁業施設		
ヒラメ	80 mm	180千尾
場所：当協会ヒラメ中間育成施設（八峰町八森） 県水産振興センター栽培漁業施設		

放流効果調査（市場調査）

県内各漁協に出向き、マダイ、ヒラメの漁獲量に占める放流魚の状況を産地市場で調査します。

秋田県内各漁協

令和5年4月1日～令和6年3月31日